

「個別支援ボランティア活動のプログラムづくり研修」 開催要綱

1. 目 的

多様な課題がある社会状況の中で、個人が抱える課題も多様化・個別化しています。それゆえに支援の在り方も個別性が高くなっています。この現状に即した支援を展開していくためには、制度・サービスの範囲内で関わる専門職だけではなく、ボランティアによる柔軟な支援も求められます。そこで、ボランティアが個別支援で担える役割を明確にし、専門職が果たすべき役割や機能を理解することを目的とし、本研修を開催いたします。

今年度は特に個別支援に関わるボランティアプログラムづくりとリスクマネジメントに焦点をあてます。地域における個別ニーズから、どのようにボランティア活動をつくり、展開していくかを学びます。

2. 受講対象

個別支援に関わる業務を行い、来年度以降に個別支援ボランティア活動の検討が可能な組織（※1）に所属している方

※1：社会福祉協議会、社会福祉施設、地域包括支援センター、生活困窮者自立支援相談窓口、行政機関など

3. 開催日時・場所

<ボランティアプログラムづくり>

①平成29年11月2日(木) 10:30～17:00 多気町 吉田福祉基金会館 (多気町四疋田 588-5)

※申込締め切り 平成29年10月27日(金)

②平成29年12月7日(木) 10:30～17:00 四日市市文化会館 第3ホール(四日市市安島 2-5-3)

※申込締め切り 平成29年12月 1日(金)

<ボランティアのリスクマネジメント>

③平成30年 1月18日(木) 13:00～17:00 三重県社会福祉会館 研修室① (津市桜橋 2-131)

※申込締め切り 平成30年1月12日(金)

4. 講 師 筒井のり子 氏 龍谷大学 社会学部 教授

認定特定非営利活動法人 日本ボランティアコーディネーター協会運営委員

【講師プロフィール】学生時代に大規模なボランティアサークルで初の女性部長となり、ボランティア団体の運営の難しさと面白さを体感しました。また大学院生の頃から大阪ボランティア協会のスタッフとして、大阪寝屋川市において地域福祉を推進する市民活動団体の事務局を7年間担いました。その後、いくつかの大学を経て、1999年より現職場へ。

日本ボランティアコーディネーター協会には設立の準備段階から参画し、2004年～2007年度、2012年～2015年度まで代表理事を務めました。また、津市社会福祉審議会委員、高槻市社会福祉審議会委員、複数の自治体の地域福祉計画策定委員長などを務めています。

著書に『ボランティア・コーディネーター ～その理論と実際』(大阪ボランティア協会)、『コミュニティソーシャルワーク』(ミネルヴァ書房)、『なぜ、ボランティアか? 思いを生かすNPOの人づくり戦略』(海象社・共訳)、『ボランティアコーディネーション力 ～市民の社会参加を支えるチカラ』(中央法規出版、共著)などがあります。

5. 定 員 ※先着順で定員となり次第締め切ります。

①②は各50名 ③は30名

6. 参加費 無 料

7. 主 催 社会福祉法人 三重県社会福祉協議会

8. お問合せ先

社福) 三重県社会福祉協議会 三重県ボランティアセンター

TEL:059-229-6634 FAX:059-229-6635

E-mail:mvc@miewel.or.jp 担当:北出

【参加申込書】

「個別支援ボランティア活動のプログラムづくり研修」

〈送り状不要〉 三重県ボランティアセンター 行き (FAX : 059-229-6635)

平成 29・30 年 月 日

<p>お申込み日</p> <p>ご参加される日に <input checked="" type="checkbox"/> をつけてください。</p>	<p>ボランティアプログラムづくり ※内容は同じです</p> <p><input type="checkbox"/> 11月2日 (多気町)</p> <p><input type="checkbox"/> 12月7日 (四日市市)</p>	<p>ボランティアのリスクマネジメント</p> <p><input type="checkbox"/> 1月18日 (津市)</p>	
<p>ふりがな お名前</p>	<p>ふりがな</p>		
<p>ご所属先名</p>	<p>法人名 :</p> <p>事業所・施設名</p> <p>部署名 :</p> <p>福祉施設にご所属の方は該当する種別に○を付けてください。</p> <p>高齢者福祉施設 障がい者福祉施設 児童福祉施設</p>		
<p>ご担当業務</p>			
<p>現在の担当業務 のご経験年数 (H29.4.1時点)</p>	<p>年 ヶ月間</p>		
<p>連絡先</p>	<p>住所</p>	<p>〒</p>	
	<p>T E L</p>	<p>F A X</p>	
<p>e-mail ※連絡先になる FAX がない場合は必ずご記入ください。</p>			
<p>◆今後、ご所属で求められるボランティア活動はどのようなものがありますか。 ご担当者としてのご意見で構いませんのでご記入ください。 例) 施設内や在宅でのお話相手、外出のサポート、イベント時の利用者の付き添いなど</p>			

◎上記情報は適切に管理し、本研修以外の目的には使用しません。

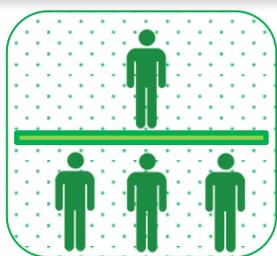
なお、参加者に配布する名簿にはお名前、ご所属先に限り記載致しますことご了承ください。

専門職×ボランティアコーディネーション

平成 29 年度 ボランティアコーディネーター養成研修事業

個別支援ボランティア活動の プログラムづくり研修

あなたがいま支えている人をボランティアと一緒にささえていきませんか。
そのためのボランティアプログラムづくりと活動にあたってのリスクマネ
ジメントと一緒に学びませんか。



開催日

●ボランティアプログラムづくり
H29/11月2日(木)と12月7日(木)
※両日の内容は同じです

開催場所

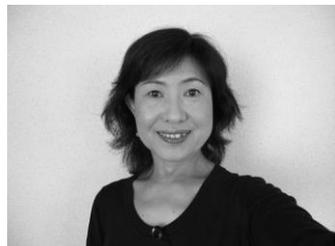
●ボランティアのリスクマネジメント
H30/1月18日(木)
11/2 吉田福祉基金会館
(多気町四疋田 588-5)
12/7 四日市市文化会館
第3ホール (四日市市安島 2-5-3)
1/18 三重県社会福祉会館
3階 研修室①(津市桜橋 2-131)

参加
無料

講師

筒井のり子 さん

龍谷大学 社会学部 教授
認定特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会
運営委員



募集対象

個別支援に関する業務を行い、来年度以降に個
別支援ボランティア活動の検討が可能な※組織
に所属する方

※社会福祉協議会、社会福祉施設、地域包括支援セン
ター、生活困窮者自立支援相談窓口、行政機関など

多様な課題がある社会状況の中で、個人が抱える課題も多様化・個別化しています。
それゆえに支援の在り方も個別性が高くなっています。
この現状に即した支援を展開していくためには、制度・サービスの範囲内で
関わる専門職だけではなく、ボランティアによる柔軟な支援も求められます。そ
こで、ボランティアが個別支援で担える役割を明確にするとともに、こうした
支援に関するボランティアを守るために、専門職が果たすべき役割や機能を
理解することを目的とし、本研修を開催いたします。



【日程と内容】

専門職×ボランティアコーディネーション

講義と演習で進めます。

開催日時	テーマ	主な内容
11月2日（木） 多気町開催 10時30分～17時	ボランティア プログラムづくり	特定のニーズや課題に対応するボランティア活動のプログラムづくりに必要な知識、技術を知り、プログラム開発の手順を学びます。 合わせて、複数名でひとつのプログラムづくりを行うことのメリットも学びます。
12月7日（木） 四日市市開催 10時30分～17時		
1月18日（木） 津市開催 13時～17時	ボランティアの リスクマネジメント	ボランティア活動におけるリスクをどのように洗い出し、整理し、対応策を考えるかを事例を通して実践的に学びます。

昨年度の受講者の皆さんの声

◆ボランティアプログラムづくりについて

- ・プログラムを実際にたてることでプログラム概要やボランティアの位置づけなどボランティアの支援者としてどうかを考えることで、いろんな角度から考えることができました。
- ・地域の課題に対して、いろいろ頭の中で考えていますがきちんと項目立ててプログラムを文章化していくと、実現の方向性がみえるという実感ができた。
- ・一つの事例でも色々な切り口で考えることができる。広い視点でみるのが課題解決につながる。

◆リスクマネジメントについて

- ・手法、分析などとても参考になりました。1つの事例にも細かなリスクがたくさんあることがわかりました。
- ・”ボランティア”が関わる意義、意味とそれを実現させるためにいかにリスクマネジメントが大切かを学ばせていただきました。どちらかといえばリスクあるなら「やめ」と思ってしまう性格なので、理屈としてこの範囲であればOKかという指標をたてる練習は大変参考になりました。
- ・多くの視点から考えることができて良かったです。

【講師ご紹介】筒井 のり子 さん

龍谷大学 社会学部 教授

認定特定非営利活動法人 日本ボランティアコーディネーター協会運営委員

学生時代に大規模なボランティアサークルで初の女性部長となり、ボランティア団体の運営の難しさ面白さを体感しました。また大学院生の頃から大阪ボランティア協会のスタッフとして、大阪寝屋川市において地域福祉を推進する市民活動団体の事務局を7年間担いました。その後、いくつかの大学を経て、1999年より現職場へ。

日本ボランティアコーディネーター協会には設立の準備段階から参画し、2004年～2007年度、2012年～2015年度まで代表理事を務めました。また、大津市社会福祉審議会委員、高槻市社会福祉審議会委員、複数の自治体の地域福祉計画策定委員長などを務めています。

著書に『ボランティア・コーディネーター ～その理論と実際』（大阪ボランティア協会）、『コミュニティソーシャルワーク』（ミネルヴァ書房）、『なぜ、ボランティアか？ 思いを生かすNPOの人づくり戦略』（海象社・共訳）、『ボランティアコーディネーションカ ～市民の社会参加を支えるチカラ』（中央法規出版、共著）などがあります。

研修の様子（イメージ）



お申込みの際は、FAX・e-mailまたは電話で下記の6項目についてお知らせください。

FAX : 059-229-6635 e-mail : mvc@miewel.or.jp TEL : 059-229-6634

- お申し込み日
 - お名前
 - ご所属先
 - ご担当業務
 - ご連絡先
 - 今後、ご所属で必要になる（と思われる）ボランティア活動について
- ①内容 ②経験年数
①ご住所 ②TEL ③FAX ④E-mail